

令和3年度市町村税決算状況（速報）

令和4年7月1日

これまでの県・市町村連携による徴収強化の取組と市町村の徴収努力により、令和3年度の市町村税徴収率は98.2%と、2年ぶりに上昇し、平成以降で最高を更新しました。

市町村の自主財源の確保を図るため、令和4年度も引き続き市町村と連携し、以下の税収確保の取組を推進します。

○市町村税徴収率、平成以降で最高を更新しました！

市町村税収入額：1,555億8千万円

（対前年比+0.2%、3億6千万円増）

徴収率：98.2%（対前年伸び率+1.0ポイント）

※最も低下していた平成15年度比で+6.9ポイント

→平成15年度の徴収率のままと仮定した場合と比べて約109億円の増収効果

○県・市町村連携による税収確保の取組を推進します！

1. 「おおいた徴収カレッジ」開催（主催：公益財団法人大分県自治人材育成センター）

「おおいた徴収カレッジ」では、県と市町村の徴収職員が徴収のノウハウを学び、自治体間のネットワークを強化するという目的の下、県内・県外の先進団体等から講師を招き、職員の経験年数に応じて実践的な研修を行っています。

- ・初任者コース（6/21～6/22,8/8）、リーダー養成コース（6/28～29,7/13～14）、マネジメントコース（8/9～10）

2. 県職員派遣による支援と市町村間の相互併任の実施

徴収技術の円滑な承継と組織的な滞納整理の推進のため県職員を派遣し、徴収率の向上を目指します。

さらに、市町村間の職員の相互併任を実施することで、搜索等の滞納処分や、困難事案の検討等を連携して行います。

- ・県職員派遣の受入れ及び相互併任制度を活用している市町（12市町）
別府市、中津市、日田市、佐伯市、臼杵市、津久見市、豊後高田市、杵築市、由布市、日出町、九重町、玖珠町
※竹田市、豊後大野市、国東市は相互併任制度のみ活用